

情報提供

学年末の教育活動にご多忙のことと存じます。私たちは、万博開催地夢洲の環境そのものの危険性から、集客施設を作ることに反対しています。中でも、子どもたちの無料招待事業については、計画の無謀さ杜撰さに不安と憤りを禁じ得ず、子どもたちの健康と命を守りたいと、5月と9月の二度にわたって、大阪府下の小・中・高等学校や招待を受けた教育機関に、その危険性について情報提供をしてきました。

その後も、南海トラフ地震注意が出され、発生率も80%に増え、災害が激烈化し頻発する中、パピリオンや、夢咲トンネル、夢舞大橋などの耐震性を疑問視する声もあり、危険性、懸念は増すばかりです。

2025年となり、いよいよ4月13日からの万博開催が近づいてきました。万博校外学習を実施するかどうかを最終的に判断する時期となっています。

府教委の担当課によると「この大阪府・大阪府教委が実施する無料招待事業に参加するかどうか、万博校外学習を実施するかどうかの判断は、各学校の権限であって、各学校に任されている。実施しない場合は、大阪府教委の招待事務局に申し出るだけでよい。」ということです。

この間、この万博遠足無料招待事業を巡っては、いくつかの市町村議会で、大阪府に対する再検討の意見書が採択されたり、校長連名で「大阪・関西万国博覧会招待事業」への参加を見送り、従来通りの校外学習を実施することを伝える保護者宛通知を出したりする例も出てきています。もちろん、各学校の校長名で、招待事業に参加せず、従来通りの校外学習を実施することにしたと保護者に通知する学校も増えてきています。また、吹田市教育委員会は各学校長との連名で保護者宛に、万博遠足については「学校行事として訪れることを見合わせる」と通知しました（参考資料として添付）。

この度の情報提供では、上記のような各自治体や学校の動きとともに、万博会場・夢洲の有毒ガス発生状況を中心にお伝えします。

子どもたちの健康といのちを守るため、『「万博校外学習」は実施せず、従来通りの校外学習とする』との決断を、ぜひともお願いいたします。

また、学校単位での参加をしない場合は個人クーポンでの申し込みに移行するとしていますが、行政や学校から配られるものだからと信頼して、危険性について知らないまま夢洲に行き被害にあう場合もあるのではないかと懸念しています。併せて、子どもたちと保護者の方にも、危険を回避するために情報を提供していただきますようお願い申し上げます。私たちも街頭での対話などで、できる限り多くの方にお知らせするよう努めておりますが、まだまだ、爆発事故の事も、夢洲がどこにあり、どのような場所で、危険な環境であることを知らない方が多くおられます。

同封の資料、当会のチラシ及び当会のHP（下記QRコードからご覧いただけます）も併せてご参照ください。

夢洲カジノを止める大阪府民の会 <https://vosakaf.net/> ⇒
〒536-0008 大阪市城東区関目 6-4-2-103
山川よしやす（事務局長）電話 090-8536-3170
メール：stop-casino@vosakaf.net



ユーチューブなど、様々な資料がご覧いただけます